

第38回 定例会

日 時 令和元年10月5日(土)
 15:00~15:50 インタビュー
 15:50~17:00 定例会
 場 所 自治会館にて
 出席者 8人

■インタビュー

小学校の総合学習「調べ学習」

『ペットとぼうさい』の方々にどんな取り組みをしているか聞いてみよう!

インタビュアー 小学4年生 1人

インタビュイー ペットとぼうさいメンバー 8人

■定例会

1 メンバー作成の資料『ペットとともに災害を乗り越えるために』を共有

ペットとともに災害を乗り越えるために

・・・災害に対する「ペットとぼうさい」の役割・・・

2019.10.03

支援		担い手		一人一人が行うこと	ペットとぼうさいが行うこと
自助	自分の身の安全を守る 自己責任	本人・家族 親族	日常	<ul style="list-style-type: none"> 最低一週間分の備蓄品、非常持ち出し品など、日頃からの備え・準備する。 ペット(犬)にマイクロチップを装着。 ペットに迷子札を付けておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自助のために必要なこと、事前に準備しておくことをまとめ、教宣活動を行う。
			災害時	<ul style="list-style-type: none"> いざというときは、ペットとともに自分の判断で避難する。 	
共助・互助	地域や身近にいる人同士が助け合う 助け合い	友人・隣近所 ボランティア	日常	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んでペットコミュニティに参加し、ネットワーク構築に心がける。 非常時の連絡網、役割分担を話し合う。 地域の避難訓練、防災訓練に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練、防災訓練の推進・実施。 ペットコミュニティ構築の推奨、援助。 災害に際した場合の「ペットとの災害対策マニュアル」をまとめる。
			災害時	<ul style="list-style-type: none"> ペットコミュニティと連絡を取り、互いの状況確認、情報収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループとして助け合いの窓口・キーになる。 サークル所有備蓄品等の提供。
公助	国や地方公共団体等の取り組み 公の支援	行政・専門家	日常	<ul style="list-style-type: none"> 行政や地域が行う避難訓練、防災訓練に参加する。 地域の避難場所、避難経路を知っておく。 給水地点等を知っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ペット同行避難場所の確立に向け、機会あるたびに必要性を発信しつける。 ペット同行避難場所を決めておく。
			災害時		<ul style="list-style-type: none"> ペット同行避難場所に駆け付け、拠点を設置する。 ボランティアグループとして公的支援の窓口・受け皿になる。

『ペットとぼうさい』の立ち位置（スタンス）を確認できる。

- 何をしたらよいのか。
- イベントに参加しているが、方向性をしっかり持つ
- 年頭にでも、どこに軸を置いていくのは、何かを確認する。

○組織的なことが分からないが、この表で
行政的にどこまで進んでいるのか、確認できる。

○自助の大切さを確認 → どこまで目を向けられるか考える。

2 避難所運営会議が避難所検討会議の名称へ変更になった。

その避難所に合っている方法を考える会議

<提案>

避難場所になる前はどのようなの？

みんなが来たらどうするの？ 会議に向けて検討案を考える。

3 動物愛護週間での区の展示（9月26日～10月2日）報告

- 終了後、衛生課からリーフレットが欲しいと問い合わせがあり、届けた。
- 置いておいた、リーフレットは減っていた。

4 災害時の動物の受入状況

- 千葉 体制ができてなく、ノウハウもなかったので、立ち上げが遅くなった。
- 稲毛 立ち上げたが、数が少なくすぐに閉鎖した。

5 片平小学校避難所のとりの片平公園に犬の避難ができることになった。

自治会長、自主防災組織本部長、他役員の皆さんが担当課にお願いした。

ルールをこれから決めていく。

『ペットとぼうさい』のノウハウを是非、参考にさせていただきたい。

■今後の予定

11月9日（土） 14:00～16:00 防災3333事前スタディー（自治会館1F）
16:00～17:00 定例会（自治会館1F）